

令和4年6月

東京都一水会会員様

東京都一水会会長・一水教育研究所所長
千代田区立昌平小学校長 浅岡 寿郎

令和4年度 学校園経営論文・教育実践論文の募集について

標記の件につき、下記の内容で全会員に募集いたします。未だコロナ禍の影響を受ける中ではありますが、多くの職層から、会員の皆様の積極的な応募をお待ちしております。奮って御応募ください。

1 はじめに

本研究所の目的である「新しい教育の創造と実践的な教育研究を通して、東京都の教育の充実と発展に寄与する」ため、一水会会員の先進的「教育実践」「学校園経営」「提言」等を「学校園経営論文」「教育実践論文」として募集します。

2 募集する「経営・実践論文」

- ①『学習指導要領の具体化、令和の日本型学校教育の具現化(特に「個別最適な学びと協働的な学び」の具現化)、学校を担うミドルリーダーの育成に向けた経営・実践論文』
- ②『自らの教育課題を設定し、解決策を示した研究論文』
- ③『自校園の課題解決に、具体的方策を示した経営・実践論文』
- ④『学校園経営方針の成果と課題を具体的に示した論文』
*全会員が「欲しい情報」「活用したい」新たな教育課題に関する論文を。

3 募集方法

『個人応募』…個人が直接、「問い合わせ・提出先」に応募してください。

『推薦応募』…各ブロック支部長会、幼稚園・こども園部会より1～2名以上の推薦をお願いします。(※今までに論文を書いた経験を生かして再度チャレンジできる会員も含めます。)

*昇任させたい教諭・主任教諭・主幹教諭・指導教諭・指導主事 等

*昇任2～3年目の校長・副校長・園長・副園長 等

4 応募論文 A4版 43字×37行 2枚～5枚程度(図や表を含む)

5 提出期限 令和4年8月19日(金) (データと紙ベースで提出)

*個人応募は応募の意向を早めに御連絡ください。

◎応募状況等により締切りを遅らせる場合もあります。

提出期限が過ぎて応募される場合は下記へ連絡ください。

6 問い合わせ・提出先

研究開発部長 安齋 正彦 (メール) anzai2192@outlook.jp

〒345-0804 南埼玉郡宮代町川端3-8-13 TEL090-4714-1895

7 表彰式 令和5年1月20日(金) 新年会で

*岩上賞および優秀賞の受賞者には賞状と副賞(図書券)贈呈。入賞者全員に賞状を贈呈。

8 口頭発表会 令和5年2月18日(土) 第3回特別研修会で

- 9 紙上発表 ○『雄飛53集』に、最優秀論文・優秀論文を全文掲載予定。
○『研究所所報74号』に、入賞以上の論文の概要等を掲載予定。

〈参考〉

「経営・実践論文を書く」ということ

➡ 一水会会員全体の『論理的な文章を読み書きする能力』の強化を図りたい。

背景

- 現代社会は、言語情報の量的拡大と質的变化が進化し、言語力が職務遂行能力として必要である。

- 教師の資質・能力として文章や資料の分析・解釈・評価・論述の論理的思考力と表現力が不可欠である。

構想例

- ◎ 文章や資料を活用し、論理的に考え、表現するために、PISA 型読解プロセス《「情報の取り出し」→「解釈」→「熟考」→「論述」》を参考にして、カリキュラム・マネジメントの元となる「カリキュラム・デザイン」を、まずは考えること。

組立の基本例【経営者の立場に立って・実践者の立場に立って】

- (1) 序論 … 自らの課題把握力を示すこと
⇒ 問題意識・問題点の摘出、課題解決の重点方策が書けなければならない。

- (2) 本論 … 自らの実践指導力を示すこと
⇒ 具体的方策① 論→例→策で
⇒ 具体的方策② 論→例→策で
… …

- (3) 結論 … まとめ
⇒ 総括・展望・決意を示すこと

※詳しくは、一水会発行の紀要「雄飛」平成8年度から掲載されている優秀作の論文を参照ください。

（「経営・実践論文」の意義につきましては、7月発行の「研究所所報 72号」にも掲載してありますので、お読みください。）